



令和2年10月8日 第65号

### 活動レポート

## 小中高生の「俳句」を静大衛星で宇宙へ 「あなたの思いを宇宙に届けよう」 優秀作品表彰式

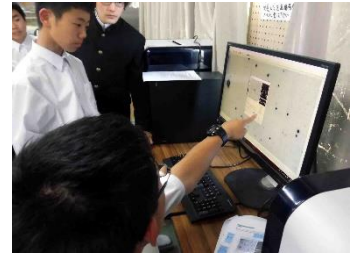
トップガンシステム協議会では、令和2年9月6日（日）宇宙へ「あなたの思いを宇宙に届けよう」優秀作品表彰式を静岡大学佐鳴会館会議室にて行いました。

今回の「俳句」募集までの経緯

トップガンプロジェクトでは、「宇宙/人工衛星関連の講座」を中高生対象に行ってきました。以下は2016年からの活動です。

### ・地球近傍小惑星を探查(2016～)

国際的な天体探索活動（ハワイ大学望遠鏡の観測写真データを解析し、小惑星を発見する講座）に参加しており、現在4年続けて未知の小惑星を発見。IASC（International Asteroid Search Campaign）のホームページに外国の研究者とともに小惑星発見者として名まえが掲載。



### ・Stars-A0 衛星を用いた研究体験(2018)

中高生を対象に Stars-A0 衛星に搭載した高感度カメラをどのように利用するか観測研究計画立案し、衛星の愛称も「あおい」命名。



### ・身近な物理学から迫る“人工衛星” (2019-2020)

自分たちで作った八木アンテナで実際に上空を通過する NOAA-18 気象観測衛星からの信号を受信し、WXtoImg ソフトウェアにより画像編集、表示することに成功。



### ・天体/人工衛星観測(2019-2020)

静大学生天文サークル/能見研究室学生による観測講座 静岡大学浜松キャンパス総合棟 10階屋上にて ISS の追尾、望遠鏡で星空観測。

小中高生の「俳句」を静大衛星で宇宙へ

「あなたの思いを宇宙に届けよう」

2019 夏、2020 年打ち上げの静大衛星 STARS-Me2 に向けた講座実施の打合せを能見（工学部 静大衛星開発責任者）、藤間（工学部 ダヴィンチ）、山本（教育学部 トップガン）で行う中で

「理系だけでなく文系の皆さんにも関心がもてるイベントをやりたい。」「宇宙・人工衛星であれば、文系の皆さんも関心をもちやすい/夢やロマンがある」「これまでの課外講座では理数系に興味がある子どもたちをさらに伸ばそうと科学の講座を行ってきたが、文系の皆さんにも関心をもってもらえるイベントとは？」

この話し合いを経て「俳句を募集して、優秀作品は STARS-Me2 へ搭載して、宇宙へ飛ばそう！」という企画がスタートしました。



俳句を搭載する静大衛星 STARS-Me2

俳句の募集については、後援いただいている地域の全小中高等学校へチラシを配布し、静岡大学ホームページへの掲載、静岡新聞社様、中日新聞社様の記事によってプロジェクトを周知。

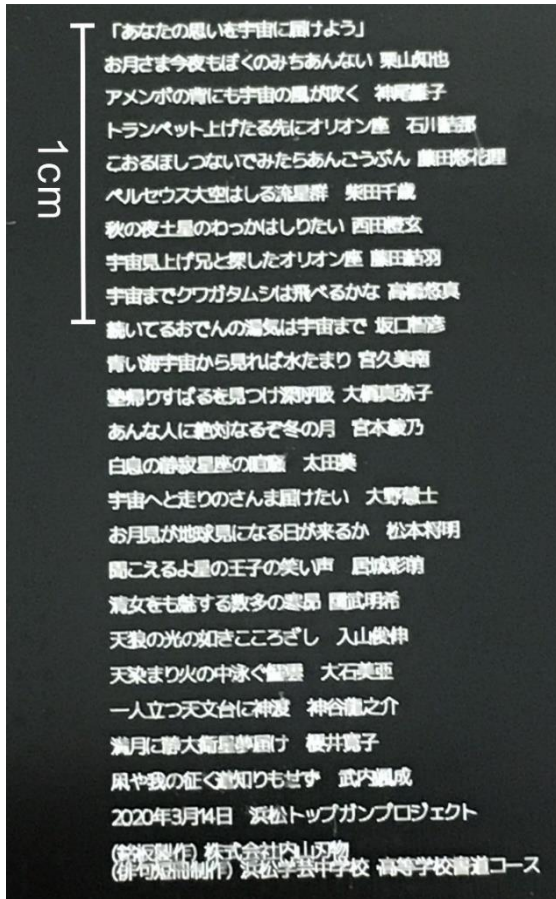
応募作品総数 **1508 句**（小・527 句、中・536 句、高・445 句）、応募者数 962 名（小・337 名 21 校、中・373 名 14 校、高・252 名 5 校）の参加があり、周知した以外に下記地域の参加が見られた。

（静岡県）藤枝市、三島市、焼津市、島田市、伊豆の国市  
審査の結果、入賞作品作者 22 名（小・8 名、中・8 名、高・6 名）。地域の内訳（浜松市 15 名、磐田市 2 名、袋井市 1 名、湖西市 1 名、森町 1 名、島田市 1 名、伊豆の国市 1 名）を選出。

**Special Thanks** : ボランティアで 1508 句の審査を行ってくださった  
6 名の審査員の方々

高柳克弘 様（俳人、浜松市出身）  
浜松市小中一貫校代表校長 今村ゆかり 様  
森町立旭が丘中学校 教頭 亀家達夫 様  
静岡大学教育学部附属浜松小学校 国語科 田中義文 様  
静岡大学教育学部附属浜松中学校 国語科 中村 晋 様  
静岡県立磐田南高等学校 国語科 芳野ヒロユキ 様

俳句の搭載方法について「電子データ、プリント(印刷)など、無難な案では夢がない。思いが伝わらない。」「金属板に、俳句・氏名を刻んだものを搭載しよう」ということになり、重量制限の厳しいところではあるが、SDカードサイズ(2-3cm角)の金属板搭載可能(能見)



左写真は「俳句」を刻んだ文字板

2-3cm角の金属板に多くの俳句を刻むために、機械工学科酒井先生から(株)内山刃物様をご紹介いただき素晴らしい文字盤ができました。

**Special Thanks** : 内山刃物様のご厚意で俳句文字板を無料で制作していただきました。

俳句 氏名  
 1文字 : 約 0.5mm 角  
 線の太さ : 0.1mm 以下



**Special Thanks** : 浜松学芸高等学校・芸術科書道課程の皆さんに入選俳句を揮毫して(筆をふるって)いただきました。

## 優秀作品表彰式

トップガン教育システム協議会 木村雅和（静岡大学 理事/副学長）

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきましたトップガン教育システム協議会の会長木村雅和です。今回はトップガンの事業の中で、皆さんの俳句を静岡大学工学部の能見先生が開発している衛星に載せて宇宙に届けるということで募集させていただきましたところ、1500を超える俳句を応募していただき、その中で22の俳句を選ばせていただき、その22の俳句は金属板に刻んで、人工衛星の中に入れて宇宙に行くという、本当に夢のある、皆さんの俳句が宇宙に浮かび続けるということです。

トップガンシステム協議会というのは、スタートしたのは2009年、浜松の地域から夢と志を持って世界で活躍するような子どもたちを育てていこう、出る杭をどんどん伸ばしていこうということで、今は理数系のものに特化している部分もありますけれど、それにこだわっているわけではなく、いろいろなところで活躍できる子どもたちを育てたいということです。多分このあとご紹介があるかもしれませんが、理科プレゼンテーションコンテストであったり、算数の大会であったり、そういったことをずっと続けてやっています。その中の1つとして今回はこういった俳句を募集したということで、選ばれた皆さん、本当におめでとうございます。本日は保護者のみなさんもお出席いただきありがとうございます。引き続き、俳句のことも、静岡大学の衛星のことも、そしてトップガンの活動のこともご協力いただけたらと思っております。簡単ではございますが、これで私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。（挨拶一部抜粋）

静岡大学衛星に載せる俳句募集

「あなたの思いを宇宙に届けよう」

小学生の部入賞作品

### 優秀賞

・こおるほしつないでみたらあんごうぶん

浜松市立佐鳴台小学校 一年 藤田悠花哩（女）

・ペルセウス大空はしる流星群

湖西市立鷺津小学校 三年 柴田千歳（女）

・秋の夜土星のわっかはしりた

静岡大学教育学部附属浜松小学校 三年 西田橙玄（男）

・宇宙見上げ兄と探したオリオン座

静岡大学教育学部附属浜松小学校 三年 藤田結羽（女）

・宇宙までクワガタムシは飛べるかな

静岡大学教育学部附属浜松小学校 四年 高橋悠真（男）

・続いてるおでんの湯気は宇宙まで

浜松市立上島小学校 五年 坂口智彦（男）

・青い海宇宙から見れば水たまり

磐田市立田原小学校 五年 宮久美南（女）

静岡大学衛星に載せる俳句募集

# 「あなたの思いを宇宙に届けよう」

## 中学生の部入賞作品

### 優秀賞

・塾帰りすばるを見つけ深呼吸

静岡大学教育学部附属島田中学校 一年 大橋真弥子(女)

・あんな人に絶対なるぞ冬の月

浜松市立庄内中学校 一年 宮本綾乃(女)

・白息の静寂星座の喧騒

浜松市立佐鳴台中学校 二年 太田葵(女)

・宇宙へと走りのさんま届けたい

静岡大学教育学部附属浜松中学校 二年 大野慧士(男)

・お月見が地球見になる日が来るか

浜松市立入野中学校 二年 松本将明(男)

・聞こえるよ星の王子の笑い声

森町立旭が丘中学校 三年 居城彩萌(女)

・清女をも魅する数多の寒昂

静岡大学教育学部附属浜松中学校 三年 國武明希(女)

静岡大学衛星に載せる俳句募集

# 「あなたの思いを宇宙に届けよう」

## 高校生の部入賞作品

### 優秀賞

・天狼の光の如きこころざし

浜松学芸中学校・高等学校 一年 入山俊伸(男)

・天染まり火の中泳ぐ鰯雲

浜松学芸中学校・高等学校 一年 大石美亜

・一人立つ天文台に神渡

静岡県立磐田南高等学校 一年 神谷龍之介(男)

・満月に静大衛星夢届け

静岡県立韮山高等学校 一年 櫻井寛子(女)

・困や我の征く道知りもせず

浜松学芸中学校・高等学校 一年 武内颯成(男)





表彰後の集合写真

#### 審査員講評

高柳 克弘先生

俳句はたった十七音の短い文芸です。それに対して、宇宙は果てしない広さがあります。宇宙を俳句で詠むなんて、なんてムチャだろう！と思われるでしょう。そのムチャを実現させてしまった句を、名句と呼ぶのですね。

たとえば「アメンボの背にも宇宙の風が吹く」という句を見てください。アメンボの背中って、すごく狭いところですよ。そこから「宇宙の風が吹く」と、いきなり天文学的な、ひろびろとした視界に切り替わる。極小と極大をともに詠みこんだことで、すべてを含みこんだ宇宙の広がりを感じさせるのです。

「お月さま今夜もぼくのみちあんない」でも、本来は遠く離れているはずの「月」と「ぼく」が心を通わせています。

「トランペット上げたる先にオリオン座」も、届くはずのないオリオン座まで、トランペットの音が響き渡るかのよう。このように、大きな落差のあるもの同士をいっしょに詠みこんだことで、私たちの常識や先入観を揺るがすような、素晴らしい詩が生まれているのです。



高柳克弘先生  
浜松出身  
NHK「俳句」選者  
俳句甲子園審査員

今村ゆかり先生（浜松市小中一貫校代表校長・浜松市庄内学園）

十七音の世界一短い詩に紡ぎ出される言葉には、宇宙のような無限の広がりがあることを応募作品から感じました。

皆さんの瑞々しい感性により、自分の身のまわりにあるありふれた題材と壮大な宇宙を結びつけることによって、新鮮で豊かな俳句がたくさん生み出されました。

宇宙に比べたら小さな私たちではあるけれど、抱く夢や可能性は宇宙より大きいこと、宇宙が決して遠いところにあるのではなく、私たちも宇宙の一員であること等、皆さんの俳句から、宇宙を身近に感じることができました。

丹沢先生（静岡大学 理事/副学長） 表彰式お礼の言葉より

静岡大学の丹沢と申します。本日このような、俳句と宇宙という、今村先生からの話にもありました文理の融合のようなイベントができたということ、本当に大変うれしく思っております。ただこの文理という分け方は、非常に人間が恣意的に分けた分け方に過ぎなくて、文系の人にはこれは理系だから関係ないとか、特に高校生の方は理系の方は文系関係ないよとか、どうしても2つに分けて、どちらかに自分を置いてしまいがちなのですが、今日のコンテストのようにその壁は関係なく、世の中の様々なことに興味を持っていただいて表現する、是非、今後とも皆さんにはそのようなことを期待しております。本日は本当におめでとうございました。最後になりますけれども、今回のプロジェクトには、内山刃物さんには我々の非常に高いレベルの技術的な要求を形にさせていただきました。本当にありがとうございました。それから能見先生にはおそらく今回だけでなく、今日先程プレゼンをきいて心強く思ったのですが、ますます子どもたちの教育に関わっていただけるというお言葉をいただきました。今後ともまたご指導のほどよろしく願いいたします。それでは以上をもちまして本日の表彰式終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

STARS プロジェクト参照

Space Tethered Autonomous Robotic Satellite  
能見研究室 における衛星開発プロジェクト HP

<http://stars.eng.shizuoka.ac.jp/>